

令和5年度 第1回学校運営協議会 議事録

[日 時] 令和5年7月10日(月)10時15分～12時10分

[場 所] 逗子葉山高等学校 会議室

[出席者] 【委員】熊谷 啓明 (沼間中学校長)

雨宮 彰子 (沼間小学校長)

水留 純子 (葉山町地域学校協働活動推進委員)

山浦 彩子 (NPO法人葉山風の子理事長)

村川 真理子 (逗子文化プラザ市民交流センター副館長)

新倉 良枝 (市民協働部次長、市民協働課長事務取扱)

佐藤 眞理子 (イトーピア自治会代表)

澤 久枝 (桜山保育園施設長)

松浦 淳子 (本校PTA副会長)

會田 勉 (本校校長)

【事務局】島 武彦 (副校長) 片倉 保宏 (教頭) 藤田 良子 (事務長) 中澤 正人
(研究広報) 下城 墨 (生徒指導) 雨宮 正和 (キャリア支援) 下山田 哲
(キャリア支援) 小杉 保貴 (管理運営) 平 育雄 (生徒活動支援) 長嶺
圭介 (教務)

○校内見学 (10時15分～10時30分)

○学校運営協議会 (10時40分～12時10分)

[議 事] 開会

○副校長より

- ・本日の流れについて

(1) 出席者自己紹介

(2) 学校長挨拶

○校長より

- ・新校として誕生するまでの経緯
- ・学校の状況と課題
- ・新校に対する考え・要望を話してほしい

(3) 報告・協議事項

○第1、2号議案について (会長・副会長選任、運営計画・部会設置)

○第3号議案について (学校評価 (目標設定) について)

【キャリア支援】

(R4進路状況について)

- ・進路決定率はここ数年、92～95%で推移している。
- ・卒業生のうち進学者は約8割。
- ・専門学校への進学が若干多い。
- ・大学進学率を高めたい。

【研究・広報】

(地域交流について)

- ・地域ワークショップを3年連続でやっている。逗子文化プラザで、その成果を発表予定である。
- ・逗子グリーンフェスをはじめ様々なイベントに参加しているが、参加できるすそ野が狭いのが現在の課題である。
- ・地域清掃ボランティアを実施している。

【生徒指導】

- ・生徒の登下校のマナーについて、厳しい意見をいただいている。しっかり指導していきたい。

【生徒活動支援】

- ・6月に体育祭を実施し、保護者の参加を可にしたが、500人強の参加があった。
- ・文化祭を9月の22日と23日に実施し、23日は一般公開にする予定である。また、23日の後夜祭では花火を上げる予定である。

【管理運営】

- ・授業等、様々な学校の活動場面でChromebookを活用している。
- ・新校開始に向けて、様々な校舎の修繕をした。

【教務】

- ・3年生が旧課程、1・2年生が新課程で学んでいる。業務の効率化を進めている。

【事務長】

- ・図書室の一般開放をしている。
- [各委員からの意見等]

【意見1】

- ・図書室開放について市民交流センターで、関係資料を配架させていただく。
- ・市の施設でも配架する。

【意見2】

- ・課題としては、高校がボランティアに参加する際、素行が悪い大人に接触してしまうこともある。応募を生徒個人とするか、学校とするかも検討する必要がある。
- ・新型コロナ5類移行後の生徒・学校の雰囲気に変化はあるか。ワークショップの際、新1年生の自己肯定感の高さを感じた。プロジェクターも教室に設置されており、ワークショップがやりやすかった。

【意見3】

- ・小中学生の様子を見ても、やる気があり、まじめな子どもが多い。反面、不登校の子どももいる。(中学校での) 対策としてはリビングという名称の部屋を設置し、そこに通う生徒もいて、完全な不登校はいなくなった。

【意見4】

- ・放課後サポート教室を長柄小の図書室でやっており、指導員が学習サポートしている。高校生に学習サポートを手伝っていただければ。

【回 答】

- ・小学生の時間帯と高校生の時間帯が違うので難しい部分もあるが検討したい。

【意見5】

- ・社会福祉協議会がボランティアをしている。中学生や高校生の参加もあった。高校生が将来進路を考えるきっかけにもなる。

【回 答】

- ・ボランティアは、チーム SDG s が中心に行っている。自転車通学を認めていないので、距離的に行くのが難しいこともある。

【回答】

- ・今後は、学校だけでなく、個人で、自己責任で参加していくのがよいと考える。

【意見 6】

- ・桜山中央公園の管理を、市だけでなく市民ボランティアもやっている。そのボランティアに逗子葉山高校の生徒も参加してほしいという意見もある。

【回答】

- ・清掃ボランティアを定期的に行っているなので、それとつなげていきたい。

【意見 7】

- ・生徒支援について、SC、SSWはどのように活用しているのか。

【回答】

- ・各週、それぞれが 1 回ずつ来ている。初めは扱う内容について、両者の住み分けを考えていたが、生徒にはどちらでもよいから相談を促す方向にシフトしつつある。

【意見 7】

- ・イトーピア団地に住む住人は地域に根差していない人も多い。団地と学校が恒常的につながるよう検討が必要だ。

【回答】

- ・団地・高校・保育園の 3 つが連携する取組みがあってもよいかもしれない。

【意見 8】

- ・様々な世代との交流が子供にとって良い経験となる。

【回答】

- ・地域との交流については、防災面も含め、ボランティア等のいただいた意見を持ち帰り検討する。

(4) その他

- 地域協働について、総務室より取材があった。動画が YouTube に掲載される予定である。
- 第三者評価の視点・評価が全県のコミュニティスクールで必要になる。説明動画が 8 月以降から公開される。
- 今後の日程について（副校長より）
- 謝意（校長より）
 - ・率直な意見をいただけたと思う。統合した学校が積み上げてきたものを、引き続き大切にしていきたい。学校で改善すべき部分があったら遠慮なく伝えてほしい。今後この学校がどのように変化していくのかを見守っていただきたい。